

委員会の審査から

市議会には、4つの常任委員会が設置されており、本会議で付託された議案・請願、所管事務調査による行政報告等、各所管事項について詳細にわたり審査を行っています。その中から、各委員会の主な審査状況をお知らせします。

文教社会

6月2日・13日・15日に議案3件、請願2件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
市民センター等の魅力向上事業
委員 南町田駅前連絡所が終了して撤去される23年2月と3月の2か月間は、窓口業務はないということか。
市民総務課長 2か月の仕事を要するという話はありませんが、なるべく圧縮できないかという調整、検討をしております、一方で機能移転を4月からではなく、前倒しができないかを検討しています。

委員 設置されるキオスク端末と、今、コンビニエンスストアにある端末とは機能は違うのか。
市民総務課長 コンビニエンスストア交付の場合は、ほか全国の自治体が取れる状況があります。市設置のものは、市に住居登録がある方は同じように取得できます。コンビニエンスストアに設置しているキオスク端末も、新たに市で設置するものも、マイナンバーカードを利用して証明書を取得するところは一緒になります。

委員 マイナンバーカードを持っていない方は、どこに行かなくてはならなくなるか。
南市民センター長 南市民センターもしくは成瀬駅前市民センター、あるいは市庁舎になってくるかと認識しています。
委員 「ソフト・魅力」をチェンジ、「地域・コミュニティ」への支援をチェンジというところだが、具体的にどういったイベントを想定しているのか。
鶴川市民センター長 モデル地域としては、鶴川地域と考えています。放課後等に会議室を使った子ども向けの教室とか、フリースペース等を活用したスペースシェアリングとか、そういったものを含めて考えています。

委員 収益性のあるイベントというのは具体的にどういったものなのか。
鶴川市民センター長 市立室内プールでは、夜間など利用頻度の少ない部屋を使って、キッズダンスとか、そういった講座をやっています。和光大学ポプリホール鶴川でも、コンサートとか、落語とか、上映会のようなものがあります。そういったものが市民センターでもできないか、そんなイメージです。

総務

6月2日・14日に議案5件、請願1件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
山林再生に必要な作業路の整備に向け、用地測量を実施
委員 小山田小学校北側の民有地の山林整備のための測量という予算だが、民有地の山林はほかにもあると思うが、なぜこれが対象となったか。
農業振興課担当課長 市では、22年3月に里山環境活用保全計画を定め、民有地も含めた形で山林の再生と活用を進めていくことを大きな方針として掲げました。実際、どこから手をつけていくかというところになってきますが、小山田エリア、小野路エリアに北部丘陵整備事業用地として市が取得している山林が55

ヘクタールぐらいあったかと思うが、そのうち30ヘクタール少しがまだ活用ができていないという状況がありますので、まず、その市有地の山林の活用と併せて、隣接した民有地の山林について、これは地権者のご意向によるが、再生、活用について一緒に進めたいという話があれば、そこも併せて進めていくということになります。今、なぜこの場所かということになりませんが、既に民有林の部分で地元の方が小山田の森委員会という形で活動されています。山林の下草刈りとか、そこを整備した後は活用するような、今後、そこを広めていきたいという動きが既に地元ではありますので、まずはそこからスタートしようというところで、今回予算

計上させていただきました。
委員 作業路に関して、40メートル延長するということで、幅はどれぐらい確保しなければならぬのか、そういう決まりがあるのか。
農業振興課担当課長 約1・8メートルの幅で400メートルを整備していくという考え方です。
委員 作業するところは、車とか、どういった重機が入っていくとか、分かる範囲で教えてほしい。
農業振興課担当課長 1・8メートルですので、軽トラックはかなり余裕を持って入れると思いますし、普通の1・7メートル程度のトラックであれば入るかと思えます。例えば、そのあたりに積んで、重機等の中に入れていくということも想定しています。

建設

6月13日に議案9件の審査を行いました。

野津田公園拡張区域整備工事(その3)請負契約
野津田公園北側拡張区域にテニスコートの整備を行う工事請負契約を締結
委員 ばら広場だったところをテニスコートにするということですが市民の方からも請願が出されたりご意見があった場所だと思ふ。そうした状況で進められていく工事で、住民の方、あるいはこれまで協力いただいたらばら会への説明はどのように行われ、今どのような関係性になっているか。
公園緑地課長 この契約が済み次第、速やかに工事説明会の準備をする予定です。
公園管理担当課長 ばら会への説明についても、工事と同じ時期に考えています。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
無電柱化推進事業について
委員 無電柱化の制度の概要を教えてください。
道路政策課長 都で持っている無電柱化推進計画、また、それに基づき町田市の無電柱

化推進計画を持っていますが、その基本的な考え方としては、防災とか安全とか景観という主な考え方があり、歩行の邪魔になるから、これをどけてというご意見もあるかと思いますが、路線として寄与するところが、路線として寄与するところが、小さな道路はなかなか難しいというところで、12メートル以上の幅員のところを主に選ばせていただいています。地域防災計画とか都市計画マスタープランに基づいた路線として考えられるところだったり、都市計画道路、まちづくりで寄与するところと、そこで中央通りとか文学館通りというところを選ばせていただいているので、生活道路、うちの前の電柱をどけてよというお話には対応できません。

健康福祉

6月2日・14日・30日に議案4件の審査を行いました。

令和4年度(2022年度)町田市一般会計補正予算(第1号)
地域における福祉の困りごと相談支援体制強化事業
委員 地域福祉コーディネーターだが、どういったところに委託するのか。
福祉総務課担当課長 1つの分野、福祉の分野に限って動くというよりは、様々な高齢者、障がい者、子ども、保健、地域の、例えば活動も含めて様々な点から相談を受けて、それを想定していただきますので、福祉の分野の多くのまたがった知識を持った方、そして地域に根差して活動を行っているような事業所、そういった方を抱えている事業所を業務委託先として検討していると

ころです。
委員 継続したアウトリーチ事業ということで、いろいろな福祉の総合的な問題は、支援が欲しいが、なかなかそれを自らすることができないとか、そういった方のサインをいかに拾い上げていくのかが大事だと思う。どういうのを想定しているか。
福祉総務課担当課長 継続的なアウトリーチというように、な形を今回お示したのは、特に地域の中で必要な支援に繋がっていない方の事例として、自らが支援が必要であることを認識されていない方もいます。また、支援自体を拒否されている方もいらっしゃることを認識しています。そういった方には、1回訪問しただけでは、支援機関に繋がると

というよりは、長い月日をかけて関係を構築し、その人との信頼関係を得てからやると支援機関につながるというような動きになってきますので、継続的に、定期的にアウトリーチをして関係を構築して支援機関に繋がっていくという役割をこのコーディネーターが担っていくものです。
委員 モデル地区で年明けから検証されるということだが、来年度以降のイメージみれば教えていただければ。
福祉総務課担当課長 当事業は、町田市5カ年計画22|26の重点事業として位置づけられており、25年度までに市内の町内会・自治会連合会単位の10地区にエリアを拡大して、市内全域への整備という形で進めていきたい。